

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立東中本小学校

令和 7 年 4 月 22 日

1 学校運営の中期目標

現状と課題 (令和 6 年度運営に関する計画 総括)

【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

(年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析)

- 目標 1、安全・安心な教育の推進については、全市共通目標「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、85%だった。
- 「いじめに対する対応」に関しては、100%だった。
- 学校の年度目標「進んであいさつをする」では、91%。「友達とよく遊んだり、話したり」では、86%と、すべての項目において目標を達成することができた。次年度以降も、今年取り組んだピア・サポート、あいさつ運動を続けていき、さらなる数値上昇を目指していく。

【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

(年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析)

- 最重要目標 2、未来を切り拓く学力・体力の向上では、全市共通目標「話し合い活動を通じて、自分の考えを深められたか」について、学力経年調査では45.4%、校内調査では53%であった。
- 運動をすることは好きですか」については、学力経年調査では73%、校内調査では74%で、どちらの目標においても達成することができた。
- 国語科の研究活動を通して、話し合い活動の場を多く設定したこと、ふりかえり例「なしともも」に全学年で取り組んだことが大変効果的であった。
- 体力に関しても、記録向上という目標に向け、かけ足週間、休み時間の練習会などに取り組んだ成果が表れた。次年度に向けては、今年度効果的であった取り組みに関しては継続して取り組んでいくことと、数値目標にとらわれず、児童が主体となって学習する（運動する）取り組みを、年間を通して実施していく。

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

(年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析)

- 最重要目標 3、学びを支える教育環境の充実では、全市共通目標、学習者用端末の活用率は45.3%で、働き方推進プラン 1 の基準 1 を満たす教員の割合は68.57%だった。
- 学校の年度目標、「学校は校内の様子をよく公開している」では72%だった。
- 学習者用端末の活用率では、目標を下回ったが、10月 81.8%、11月 100%と、活用率は確実に上がってきた。
- 働き方の推進に関しては、目標数値を達成したが、持ち帰りの業務が増え、勤務時間の減少が働き方改革につながっていない現状がある。
- 年度目標の「学校公開」に関しては、学級だよりやタブレット端末での連絡など行った結果、肯定的回答で100%を記録した。次年度以降も開かれた学校を目指して取り組んでいくようとする。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

◆ 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

○令和7年度の小学校学力経年調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。

◆ 基本的な方向2 豊かな心の育成

○令和7年度の小学校学力経年調査「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を95%以上にする。

○令和7年度末の校内調査の「係や当番の仕事をすすんでしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

◆ 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

○令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割以下の児童を、いずれの学年も令和3年度より5ポイント減少させる。

○令和7年度末の校内調査の「習熟度別少人数授業やグループ別の授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。

◆ 基本的な方向5 健やかな体の育成

○特に課題である20m シャトルランとソフトボール投げの記録を、令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、令和3年度より1ポイント増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

◆ 基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

○令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。

◆ 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

○ゆとりの日については、月2回以上設定する。

○学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

◆ 基本的な方向8 生涯学習の支援

○令和7年度末の校内調査において、児童1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和3年度より10冊増加させる

◆ 基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

○令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にしているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和3年度より5ポイント増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- 本市調査における「いじめられる側にもそれなりの理由や原因があるといった姿勢で対応するのではなく、いじめる側が悪いというぶれない認識で対応している」とする教員の割合を100%にする。
- 令和7年度校内調査の『進んであいさつすることができますか。』の項目で、肯定的な回答を92%以上にする。
- 令和7年度校内調査の『友だちとよく話したり、遊んだりしている』の項目で、最も肯定的な回答を87%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を46%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を69%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートの「学校は、校内の教育活動を学習参観や学校公開、ホームページ、各種たよりなどでよく公開している。」の項目について、最も肯定的な回答をする保護者の割合を、73%以上にする。

【その他】

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式例 2)

大阪市立東中本小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	中間評価	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86 %以上にする。</p> <p>○本市調査における「いじめられる側にもそれなりの理由や原因があるといった姿勢で対応するのではなく、いじめる側が悪いというぶれない認識で対応している」とする教員の割合を 100 %にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①令和 7 年度校内調査の『進んであいさつすることができますか。』の項目で、肯定的な回答を 92 %以上にする。</p> <p>②令和 7 年度校内調査の『友だちとよく話したり、遊んだりしている』の項目で、もっとも肯定的な回答を 87 %以上にする。</p>		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	中間評価	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○いじめの早期認知・解消に向けた校内の体制を整え、課題に取り組む。</p> <p>指標 ・月に一度、各学級でスクリーニングシートを記入し、いじめの防止のために共通理解を図る。いじめを認知した場合は、いじめ対策委員会を開き、組織的に対応していく。</p>		
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○不登校児童の割合の改善、比率の減少に向けて取り組む。</p> <p>指標 ・月に一度、生活指導部会で、不登校児童について共通理解をはかる。不登校児童については、SSW と連携を取りながら対応していく。</p>		
<p>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>○ピア・サポートの手法を取り入れた授業を行い、子どもたちが互いに思いやり、支えあう人間関係を育む学習活動に取り組む。</p> <p>指標 ・前期・後期にそれぞれ 1 回以上ピアサポートの手法を取り入れた授業を行う。</p>		
<p>取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>○児童のあいさつに対する意識を高め、進んであいさつできるように啓発する。</p> <p>指標 ・あいさつ週間を学期に 1 回設け、運営委員を中心にあいさつの啓発を実施する。</p>		

(様式例 2)

大阪市立東中本小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	中間評価	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 4 6 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 7 5 %以上にする。</p>		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	中間評価	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」のある授業を開催し、児童の考えを深めたり広げたりできるようにする。</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年、国語科で研究授業を行う。 主に、国語・算数の授業において、毎単元で話し合い活動（ペアトーク・グループトーク）の場や振り返り（読み広げ、読み深め）の場を設定する。 学校アンケートで、「国語科の学習において、登場人物の気持ちや、筆者の言いたいことを考えたり、話し合ったりすることができた」の項目で肯定的な回答を 8 9 %以上にする。 		
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○学習規律や生活規律などを整え、主体的に学習する児童を育てる。</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校共通の振り返り例（なしともも）や、学習・生活の約束、ハンドサインを活用した授業を行う。 「児童の意欲を高める授業展開（単元のゴールの設定や課題提示のしかた、ICT 機器の活用など）を工夫している」と回答する教員の割合を 9 0 %以上にする。 		
<p>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○算数の計算領域の定着を図る。</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算評価問題を年度初めと年度終わりに行い回答率を 1 ポイント以上向上させる。 学期末の短縮授業時に、学習内容の理解に課題のある児童に対して、補習を行う。 		
<p>取組内容④【◆ 基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>○児童が主体的に取り組み、体を動かす楽しさを味わうことができる体育の授業を工夫する。</p>		

指標

- ・体育の授業づくりに関する校内研修を年2回以上行う。
- ・「授業の中で、学習課題を持たせ、個人やチームで動き方を考えたり、交流したりする時間を設定している」と回答する教員の割合を90%以上にする。

(様式例 2)

大阪市立東中本小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	中間評価	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を69%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和7年度末の保護者アンケートの「学校は、校内の教育活動を学習参観や学校公開、ホームページ、各種たよりなどでよく公開している。」の項目について、最も肯定的な回答をする保護者の割合を、73%以上にする。</p> <p>○学校アンケート「1週間に3回以上読書している。」の項目において、肯定的な回答を80%以上、「英語に親しむことができる。」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする。</p>		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	中間評価	達成状況
<p>取組内容①【6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>○1人1台端末の環境を生かし個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなびのポータル（心の天気）をはじめ、児童が1日1回以上、学習者用端末を利用した学習や活動を行う。 		
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○教員の働き方改革を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回、ゆとりの日を設定する。 ・閉学時刻を18時30分とし、その達成率を70%以上とする。 		
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】</p> <p>○朝学習の時間（英語モジュール、読書タイム）の充実を図り、主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケート、「朝学習（英語モジュール、読書活動）にすすんで取り組んでいる。」の肯定的回答を85%以上にする。 		

取組内容④【9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】

○家庭・地域と連携を密にし、協力して学校教育をすすめる。

指標

- ・学校だより、学年だより等で行事の紹介や学校での様子を伝える。
- ・HP を毎日更新する。